

# 東京成徳大学 ハ千代キャンパス 図書館だより

Vol. 27   
2016. 12. 01 発行

図書館運営委員会

## 映画・ドラマの原作本を読もう！

近年映画化・ドラマ化された作品の原作本をご紹介します。  
普段読書に抵抗がある方でも観たことのある作品は、読みやすいのではないのでしょうか。  
原作本を先に読んでも、映像を観た後に読んでも、新しい発見があるかも知れませんよ♪  
他にも映画化・ドラマ化された書籍がたくさんあります。図書館で検索してくださいね。



『何者』  
朝井リョウ著  
4階【913.6/A83】



直木賞受賞作。  
就職活動を目前に控えた大学生 5 人。  
就活対策として集まるようになるが、  
SNS や面接で発する言葉の奥に見え隠れする、本音や自意識が、彼らの関係を次第に変えて……。これまで抑えられていた感情や本音が露になり、ようやく彼らは自分を見つめ直す。

『舟を編む』  
三浦しをん著  
3階【913.6/Mi67】



本屋大賞受賞作品。  
出版社に勤める変人編集部員が新しく発行する辞書の編集メンバーに迎えられ、個性豊かな編集者たちが辞書の世界に没頭していく姿を描いた作品。  
「辞書は言葉の海を渡る舟、編集者はその海を渡る舟を編んでいく」という意味でこの書名が付いている。

『アルジャーノンに花束を』  
ダニエル・キイス著  
4階【933/Ke67】



知的障害を持つチャーリーと、動物実験の対象で驚くべき記憶・思考力を発揮した白ねずみ「アルジャーノン」は競争相手に。チャーリーはこの知的能力を向上させる臨床試験の被験者第 1 号に選ばれたのだったが……。障害者の置かれた状況、科学、恋愛、友情を交えて繊細に描かれた作品。

『空飛ぶ広報室』  
有川浩著  
3階【913.6/A71】



航空自衛隊の広報室が舞台。突然の事故で P 免（パイロット罷免）になった戦闘機パイロット空井大祐 2 等空尉は防衛省航空自衛隊航空幕僚監部広報室に転勤したばかりの新人広報官。個性の強い先輩たちに囲まれながら勤務をしている。テレビのニュース番組ディレクターで元報道記者だった稲葉リカのアテンド役に命じられるが……。

『くちびるに歌を』  
中田栄一著  
3階【913.6/N43】



アンジェラ・アキの名曲「手紙 ～拝啓 十五の君へ～」をモチーフにした小説。長崎県・五島列島の中学校。臨時教員の柏木ユリは、1 年間の期限付きで合唱部の指導をすることに。これまでやる気なかった合唱部所属の男子生徒もコンクールに向けて真面目に練習に打ち込み始めるなど次第に部内のわだかまりが解消されていき、やがて長崎県大会の本番に挑むことになるが……。

『ピンクとグレー』  
加藤シゲアキ著  
3階【913.6/Ka86】



大阪から横浜へ引っ越してきた小学生の河田大貴。同じマンションに住む同い年の鈴木真吾と出会い、密接した青春時代を過ごす。二人は読者モデルをきっかけに芸能活動をスタートさせる。その後真吾はスターダムを駆け上がり、大貴はエキストラから抜け出せずにいた。やがて二人は決別。二度と会うことのない人生を送るはずだった二人が再び巡り合い……。



『そもそも「論理的に考える」って何から始めればいいのか？』  
著者 深沢真太郎  
発行社 日本実業出版社  
2015 年 12 月 3 日  
【請求番号 336.2/F72】  
図書館 3 階伝統ゼミ選書



## Book review



「考える」ための基本をやさしく解説。本書では「きちんと考える」ときに押さえておきたいポイントから、論理的に考えるためのきっかけのつかみ方、問題を解決する方法までをやさしく解説する。完全に文系のサオリは持ち前の明るさとノリの良さで過ごしてきた。そして広告会社に勤めることになったが「考えてから発言して」「ちょっと考えればわかるだろ」「もう一度ちゃんと考えてみて」など叱られてばかり。そんなある日に新幹線で出会った大学院生・優斗に、今まで誰にも聞けなかった「どうすればちゃんと考えられるのか？」という疑問をぶつける。そうしてサオリが優斗との会話で何から考え始めればいいのか、どう考えれば斬新なアイデアが生まれてくるのか、根拠ある考えの裏には何があるのかなどを学んでいく。丁寧な解説と抱負な図表で、誰でも簡単に楽しみながら「考えるコツ」をつかむことができる一冊。

みなさんからのリクエストを受け付けています。  
遠慮なくリクエストをしてね！お待ちしております♪

